

JTSU-B申第11号

社員の働きがいと健康、魅力ある職場環境を切り拓く館山支店に関する

申し入れ、団体交渉をおこなう！その4

(会社) 項目 11 の清掃については検討材料となるが、シャンプー等の備品については現状既存の取り扱いのスタンスには変わらない。会社として用意する考えも持っていない。

(会社) 気持ちは分かる。会社の命で泊っているのだからという観点で言われているのであろう。しかし今までも宿泊施設の浴場にシャンプー等を置いていたことはなかった。家電等の必要備品については会社が用意するのは分かるが、シャンプー等は個人の好みもあるので一概に置くという事も考えていない。

(組合) ある意味、福利厚生で一環として考えていただきたい。会社施設の清掃を乗務員に行わせるのはどうか。

(会社) それは時と場合によって考え方は様々だ。しかし先程の話を聞けば、前日の夜に終わって、翌朝はだいぶ早い出勤と聞いているので、その間に行うのであれば休養時間の観点からも考えなくてはならない。

(組合) 古河も大綱泊所があるが、以前は乗務員に清掃を任せっきりであったため汚かった。今は佐野も泊まるようになり、現在はシルバー人材センターに清掃を依頼している。

(会社) 現状、白浜泊所は1人しか乗務員が宿泊しない。そのような施設にどこまで清掃費用を掛けるのかも考えなくてはならない。勿論、乗務員が清掃するのであれば付加時間として勤務についている。

12.業務の問題点や職場環境改善点について議論の場を設けること。また施策による業務内容やダイヤ改正等、労働条件に変更が生じる際には、事前に社員に対する前広な説明と理解度を高めるための談論をおこなうこと。

(組合) なかなかそういった議論が出来ていない職場実態がある。

(組合) 次回、回答受けての議論になるが、職場の安全衛生委員会でも議論できる内容までもここへ申し入れている。と言うのも職場でこういった議論が出来ていないからこういったことまで申し入れている。そういった背景もあることも会社には分かっていたいただきたい。職場の安全衛生委員会ですっかり議論できていればこの様なことにはならない。

(会社) 了解した。次回の交渉にて回答をお示しする。

**安全運行を下支えしてきた整備工場の廃止。費用対効果だけで計り知れないものがある！
壊れたままの車両で運行すること自体、旅客自動車運送事業者として恥ずるべき。
今までなら職場で解決出来ていた問題が、議論すらできない異常事態。
職場の問題点を職場で話し合い、解決できるような風通しの良い企業風土を取り戻そう！**

